

～火事！救急！事故！ 迷わず「119番」～

いざという時のために

119

番通報の正しいかけ方



■通報のポイントは
「落ち着いて・はっきりと！」



何が
必要

1. 何があったか
火事？救急？事故？⇒「〇〇です！」
と最初に伝えましょう。

場所
は

2. 場所はどこか
住所・目印・近くの建物などを正確に。

状況
は

3. 詳しい状況を説明
けが人の数、性別・年齢、意識の有無、火の
大きさなど。

名前
は

4. あなたの名前と電話番号
⇒質問があるときに再度連絡できるよう。



■通報時の注意点

- ・携帯電話からでも 119 番は使えます。
- ・運転中の通報は必ず安全な場所に停車してから。



■ご協力をお願いします！

不要不急の通報を避け、本当に必要な人が 119 番を使えるように
しましょう。緊急でない場合は救急相談窓口（#7119）などをご活用
ください。

■いざという時に備えて

救急隊への情報提供用紙を事前に用意し、自宅の冷蔵庫や玄関付近
などのわかりやすいところへ置いてください。

スマートフォンの自動緊急通報による 119 番発進 について



近年、スマートフォンやスマートウォッチの転倒検知機能などにより、自動で 119 番へ発信される事例が増えています。しかし、消防署では「誤って発信された」のか「通報途中で意識を失った」など本当に緊急事態なのかを電話だけで判断することができません。

もし誤って 119 番へ発信してしまった場合は、電話に出て「間違いです」「必要ありません」とお伝えください。

また、電話を切ってしまうと、すぐに消防機関から緊急電話や固定電話の番号で折り返し電話をしますので、必ず折り返し電話に出て間違い電話であることをお伝えください。

確認ができない場合、緊急事態の可能性を考え、消防車や救急車が出動することがあります。

必要な方へ迅速な対応のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

誤って発信された時は電話に出て「間違いです」「必要ありません」と伝えてください

